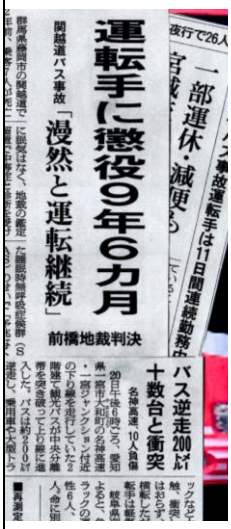
NRU
国労東北自動車支部
発　責　北山修司
編　責　教宣部
NO,27
2014.5.6

国労加入で職場を変えよう

第2回

「バスの運転者の確保及び育成に向けた検討会」開催

昨年、交通政策基本法成立に伴い、地域の足であるバス路線の確保、維持に必須である「バス運転者の確保及び育成に向けた検討会」を国交省内に立ち上げ、昨年の12月に続いて4月25日、第2回の検討会が開催されました。今回はバス運転者の現状や運転者不足の実態、取り組み事例等の整理、分析など、バス事業者及び労働組合、ｗｅｂ上によるアンケート調査の内容を踏まえた課題の整理を行っています。


運転手に懲役9年6カ月
関越道バス事故「漫然と運転継続」
前橋地裁判決
一部運休・減便
バス逆走200メ
十数台と衝突

「魅力を感じない」60％

全国の求職者及び近い将来求職予定の者、大学生、高校生に聞いたところ、求職者の4人に1人はバス運転者を魅力のある職業と評価するが60％は魅力を感じないと回答。理由として「事故のリスク」「労働時間が長いというイメージ」「社内トラブルのリスク」「特殊な資格が必要」「給料が安そう」などとなっています。

「子供に薦めたい職業」2割

全国の乗合バス事業者40社と貸切りバス事業者10社に所属する運転者に聞いたところ、4分の1は転職経験者で4人に1人は複数のバス事業者で勤務経験ありと回答。また、バス運転手になる前は5人に2人がトラック運転者を経験。バス会社を選ぶうえで重視する点は「会社の規模」「給与」「福利厚生」「労働時間」の順となっています。また、「お客様の感謝の声」に5人に3人がやりがいを感じると答える一方で自分の子供たちに薦めたいという運転者は約2割とさみしい結果となっています。

7割が「給与の改善を」

最後にバス運転者の不足の影響と改善点について聞いたところ約40％が休暇の減少(休日出勤増加)や労働時間の長期的労働化が生じたと答え、職業としての魅力を高めるための改善点として70％の人が給与の改善を上げ30％が労働時間の短縮を上げています。

労働条件が厳しく給与も安い、これでは募集しても新たな人材確保にはなりません。魅力がないから運転者が不足するのは当たり前です。会社が今、取り組むべき課題はハッキリしています。

私たちは今後も取り組みを強化し改善に取り組んでいきます。

周知徹底 よろしくですよ！

某支店の組合員が「睡眠時無呼吸症候群簡易検査」で陽性となり医療機関で精密検査を受けるよう課長から言われました。その際検査費用は出すが交通費は出ないと言われたそうです。確認すると本社の手違いで本来、団交で確認した「出張扱い」を「日勤扱い」で通達を出してしまったようです。後日、現場長より「申し訳なかった」と謝罪があったようですがこれまで検査に行った人の中には、交通費、自腹だった人もいるのでは？

営業事故のないようお願いします。

E –mail　kokurou-sendai@syd.odn.ne.jp